



Infor LN 財務会計 管理ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	tfcontrollingug (U9635)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 差異.....	7
差異.....	7
占有差異.....	7
消費差異.....	7
政策的価格差異.....	7
第2章 原価分類.....	9
原価分類の使用.....	9
原価分類のマニュアルでの作成.....	9
元帳勘定のインポートによる原価分類の作成.....	9
配賦関係の原価計算.....	10
計算.....	12
第3章 配賦.....	13
配賦関係.....	13
配賦キーの設定.....	13
デフォルトの配賦関係の設定.....	14
消費ルールによる配賦関係の設定.....	14
付録A 用語集.....	17
索引	

文書情報

この文書では、財務予算システムおよび原価計算モジュールを設定して使用する手順を説明します。

予備知識

さまざまなロジスティック LN パッケージおよび財務会計の機能に関する知識があると、この文書の理解が容易になります。

本書の概要

本書は、Infor LN、財務会計、オンラインマニュアルのトピックに記載されている原価計算モジュールおよび財務予算システムモジュールのヘルプトピックを集めたものです。

本書の使い方

この文書は、オンラインマニュアルのトピックを集めたものです。この結果、マニュアルの他のセクションの参照は、次の例のように示されます。

- 詳しくは、「統合マッピング体系を設定するには」を参照してください。参照先のセクションを見つけるには、目次を参照するか、文書の最後にある索引を使用してください。

用語の下線は、用語集の定義へのリンクを示します。この文書をオンラインで表示している場合は、下線付きの用語をクリックすると、この文書の最後にある用語集の定義が表示されます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいませうお願いいたします。

差異

原価計算および財務予算システムでは、実際金額と予算金額の間に次の差異が生じる場合があります。

- 占有差異
- 消費差異
- 政策的価格差異

占有差異

占有差異は全体原価計算システムにのみ適用されます。

- [数量基準]
 $\text{許容原価} - (\text{予算業績数量} \times \text{合計有効レート/付加費用})$
- [金額基準]
 $\text{許容原価} - (\text{付加費用基準金額} \times \text{有効付加費用})$

消費差異

$\text{実際原価} - \text{許容原価}$

政策的価格差異

全部原価計算 (原価計算パラメータ (tfcat0100s000) セッションで設定)

- [数量基準] 参照単位:
 $(\text{合計予算原価付加費用レート} - \text{合計有効レート/付加費用}) \times \text{業績数量}$
- [金額基準] 参照単位
 $(\text{合計予算付加費用} - \text{合計有効付加費用}) \times \text{付加費用基準金額} \times 100$

変動費 (マージン) 原価計算

- [数量基準] 参照単位

$(\text{変動予算単位原価} / \text{付加費用有効レート} \times \text{付加費用}) \times \text{業績数量}$

- [金額基準] 参照単位

$(\text{変動予算付加費用} - \text{有効付加費用}) \times \text{付加費用基準金額} \div 100$

許容原価

- [数量基準] 参照単位

$(\text{業績数量} \times \text{変動予算単位原価}) + \text{固定予算金額}$

- [金額基準] 参照単位

$(\text{付加費用基準金額} \times \text{変動予算単位原価}) + \text{固定予算金額}$

原価分類の使用

原価分類のマニュアルでの作成

原価分類をマニュアルで作成するには

1. 原価分類 (tfcat0102m000) セッションで原価分類を作成します。
2. 原価分類別元帳勘定 (tfcat0103m000) セッションで原価分類に関連する元帳勘定を定義します。

元帳勘定のインポートによる原価分類の作成

この方法は、元帳勘定のサブレベルおよび親子構造に基づいています。

元帳勘定のインポートによって原価分類を作成するには

1. 原価分類 (tfcat0102m000) セッションを開始します。
2. 適切なメニューで、[元帳勘定のインポート] または [親元帳勘定のインポート] をクリックします。

サブレベルがゼロの元帳勘定はすべてインポートされ、元帳勘定に関連する原価分類として作成されます。

例: 元帳勘定のインポート

配賦元		原価分類の作成	
勘定科目	サブレベル	原価分類	原価分類別勘定科目
1000	1		
1001	0	1001	1001
2000	2		

2100	1		
2101	0	2101	2101
2102	0	2102	2102

例: 親元帳勘定のインポート

配賦元		原価分類の作成	
勘定科目	サブレベル	原価分類	原価分類別勘定科目
1000	-		
1001	10	1001	1001
2000	-	2000	2100
2100	20	2100	2101、2102
2101	21		
2102	21		

配賦関係の原価計算

次の配賦原価の計算例では、予算年度配賦関係を使用しています。予算期間または実際の配賦関係に対して、同じ予算年度配賦関係が適用されます。

このデータの定義は次のとおりです。

原価分類	4711
元帳勘定	5800、5820

年度ごとの単一ディメンション予算

年度	2013
----	------

予算	BUD
----	-----

ディメンションタイプ	1
------------	---

ディメンションコード	ABC
------------	-----

参照単位	KWH
------	-----

元帳勘定	合計	変数	固定
5820 (1 次)	1,000	400	600
5830 (1 次)	20,000	10,000	10,000
5800 (2 次借方)	10,000	4,000	6,000
5810 (2 次貸方)	5,000	2,500	2,500

業績数量	100.0
------	-------

配賦関係

関係	予算年度
----	------

年度	2013
----	------

予算	BUD
----	-----

	配賦元	配賦先
ディメンションタイプ	1	1
ディメンション	ABC	ABC
参照単位	KWH	KWH
元帳勘定	5900	5020

配賦タイプ	数量
数量	10.1
評価部分	変数
原価分類	4711/原価分類なし

計算

原価分類 4711 が存在すると、原価配賦は元帳勘定 5800 および 5820 の金額を加算して計算されます。なぜなら、それらの元帳勘定は入力された原価分類内に存在するからです。

$$(4,000 + 400) \div 100.0 \times 10.0 = 440.00$$

原価分類 4711 が存在しないと、元帳勘定 5800、5820、5830 の金額が計上されます。2 次貸方元帳勘定は常にスキップされます。最後に、計算された合計を合計業績数量で割り、数量を掛けます。

$$(4,000 + 400 + 10,000) \div 100.0 \times 10.0 = 1,440.00$$

配賦関係

ディメンション間の配賦関係をメンテナンスし、関係に従って配賦手順を実行したり、計算結果の金額を予算または実際の分析に統合することができます。

同じ配賦先ディメンションのセットを使用する原価配賦構造は、複数回発生します。したがって、配賦ルールセットを定義し、異なるタイプのルールを収集して自動的に配賦関係を作成できます。

配賦正味額は、次に基づいて作成できます。

- 配賦キーの設定 (ページ 13)で説明されている配賦キー
- デフォルトの配賦関係の設定 (ページ 14)で説明されているデフォルト配賦関係
- 消費ルールによる配賦関係の設定 (ページ 14)で説明されている消費ルール

配賦キーは、配賦関係のソースが知られている場合に自動的に配賦関係を作成するスキーマです。

デフォルト配賦関係は、繰り返し発生する配賦元および配賦先ディメンションに関する配賦関係のテンプレートとして機能します。

消費ルールは、定義した役割に従って配賦元から外に向かう配賦関係を作成するのに使用します。

配賦キーの設定

同じタイプの外に向かう割合配賦関係を自動的に作成するには、選択した配賦ルールセットの配賦キーを定義して、配賦関係を作成することができます。配賦構造が異なる配賦元ディメンションで複数回発生する場合は、配賦キーを使用して配賦先ディメンションのグループに対する割合配賦関係を定義できます。

配賦キーを設定するには、次のステップを実行します。

1. 配賦キー名 (tfcat4105m000) セッションで配賦キー名を作成します。
2. 配賦キー (tfcat4502m000) セッションで、配賦ルールセットの複数配賦キーを設定します。ステップ3で作成した原価分類を挿入できます。この場合、明確な値の部分を選択します
3. 原価分類 (tfcat0102m000) セッションで、必要な原価分類を作成します。
4. 原価分類別元帳勘定 (tfcat0103m000) セッションで、元帳勘定と定義した原価分類をリンクします。デフォルト配賦関係で原価分類を使用します。

5. 配賦キーによる配賦関係の生成 (tfcat4202s000) セッションを実行して、各配賦キーに順番に配賦関係を作成します。

デフォルトの配賦関係の設定

配賦元と配賦先に関して繰り返し発生する配賦関係のテンプレートとしてデフォルトテンプレートを使用することができます。それらは、異なった配賦モデル(予算年度、予算期間または実モデル)での適用が可能です。

デフォルト配賦関係には、質的(たとえば、コストドライバとして平方メートルを使用した建物の割当)または量的な場合があります。量的な配賦関係は、原価対象あたりの設定を使用して活動のコストを最終的な原価対象に割り当てるために使用されます。

デフォルト配賦関係を設定するには、次のステップを実行します。

1. 配賦ルールセット (tfcat4101m000) セッションで配賦ルールセットを作成します。
2. デフォルト配賦関係 (tfcat4503m000) セッションで、配賦元/配賦先の組合のデフォルト配賦関係を作成します。
3. 原価分類 (tfcat0102m000) セッションで、必要な原価分類を作成します。
4. 原価分類別元帳勘定 (tfcat0103m000) セッションで、元帳勘定と定義した原価分類をリンクします。デフォルト配賦関係で原価分類を使用します
5. デフォルト配賦関係を配賦関係にコピー (tfcat4203m000) セッションで、デフォルト配賦関係を配賦関係にコピーします。
6. 配賦関係をデフォルト配賦関係にコピー (tfcat4206s000) セッションで、配賦関係をデフォルト配賦関係にコピーします (オプション)。
7. デフォルト配賦関係の出力 (tfcat4403m000) セッションで、デフォルト配賦関係のレポートを出力します (オプション)。

消費ルールによる配賦関係の設定

配賦正味額が消費主体の場合、消費ルールに基づいて配賦関係を作成できます。出金予算と配賦元からの実配賦関係は、ユーザに提供されたルールにしたがって作成されます。

その目的は配賦先での業績数量と密着に関係しながら、配賦関係において量を確保することです。そうすることによって、遡及計算による配賦元ディメンションから配賦先ディメンションまでの必要とされる資源と処理をバックフラッシュすることが可能になります。

消費ルール配賦関係を設定するには、次のステップを実行します。

1. 配賦ルールセット (tfcat4101m000) セッションで配賦ルールセットを作成します。
2. 消費ルール (tfcat4504m000) セッションで、配賦元/配賦先の組合せのルールを作成します。
3. 予算 (tffbs0503m000) セッションで、単一ディメンション予算を作成します。
4. 年度別予算 (tffbs0505m000) セッションで、現在の年度の予算を挿入します。

5. 年度別変動予算 (tffbs1510m000) セッションで、予算のディメンションおよび参照単位 (適切な元帳勘定とともに) を入力します。
6. 年度別業績予算 (tffbs1120m000) セッションで、年度別業績予算と予算の年度別業績数量または付加費用基準金額を定義します。
7. 配賦キーによる配賦関係の生成 (tfcats4202s000) セッションで、配賦関係を作成します。
8. 配賦関係 (tfcats4500m000) セッションで作成した配賦関係を確認します (オプション)。
9. 遡及計算 (tfcats4213m000) セッションを実行し、予算の遡及計算を行います。
10. 原価配賦差額の統合および/または転記 (tfcats4211m000) セッションを実行し、遡及計算の結果を予算に統合します。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

参照単位

レートおよび付加費用を決定するためのコストセンタのパフォーマンス測定基準および計算基準

索引

適切なメニュー, 17
差異, 7
原価分類
 作成, 9
 配賦原価計算, 9
配賦関係, 13
 デフォルトの設定, 14
 消費, 14
原価配賦, 13
配賦キーの設定, 13
デフォルトの配賦関係の設定, 14
消費ルールによる配賦関係の設定, 14
参照単位, 17
